

【 NST専門療法士実地修練研修を受講して、研修生からの感想 】

「管理栄養士より」

- ・今回の研修で、管理栄養士としてNSTで活動していくには、常に向上心を持たなければと強く感じました。基本的な病態や、臨床学的な知識はもちろん、複数の情報を総合的に評価、判断する技術が必要であると感じました。
- ・栄養管理は、机の上のものではなく、患者様に接して行うものだと学びました。NST研修ということだけでなく、今後の管理栄養士としての自分に刺激的な研修でした。こちらで研修させて頂いたことをNST活動、自分の仕事にいかしていきたいと思います。
- ・学びたかったことは、盛り上がり欠けるNSTを変えるにはどのような行動をおこしたらよいのか、という事でしたが、一人一人が問題意識を持ち、栄養療法の目的と評価法をはっきりさせ結果(症例)を記録に残し生かしていくこと、ずっと同じやり方でなくニーズに合わせてNSTも形を変え、進化していくことが必要であるのだと感じました。

「薬剤師より」

- ・当院のNSTは栄養士が中心で、ひとつの症例を通して考えたことがありませんでした。TEEの算出方法や検査値の見方、プランニングなど知ってはいましたが、実際に行ってみて、難しいことが分かり、NSTのおもしろさも実感しました。
- ・研修はじめの目標は「NST薬剤師は何ができるのか？」を知ることでしたが、通常の業務でも注射処方方の監査から低栄養の患者に気づいたり、服薬指導時には患者のモニタリングを行ったりできるとわかりました。生化学や薬学の観点から間違った栄養療法が行われていないかチェックしたりもできるので、ラウンドに参加するだけでなく、様々な方法で活動できることがわかりました。
- ・NST活動が食事や薬剤だけでなく、口腔ケアやリハビリ(COPD患者の下半身の筋力強化等)にも関与しており、栄養を摂る上で総合的に個々の患者に合った方法を見つけていくという事を学びました。
- ・研修前はNSTにおける薬剤師の役割を学ぶことが目標でしたが、研修後は薬剤師の役割を習得できたと共に、NSTは、患者を中心として、各職種の知識を集め合うだけでなく、NSTメンバーが他職種の知識を学び、共感することでより大きなチームになり得ることを学びました。

「看護師より」

- ・常にNSTが誰のためにあるか考え、各職種の得意な部分をうまく活用したNST活動の運営を学びました。
- ・普段、患者様と接する機会の多い看護師だからこそ、気づける情報がたくさんあり、その情報を他の職種と共有することで、気づかないところも気づくことができ、改めてチームの必要性を感じました。
- ・患者さんを一番近くで観察し、変化にいち早く気づくことができるのが看護師の役割だと感じました。また仲介役を務めることも、看護師のNSTでの役割だと思いました。

「臨床検査技師より」

- ・NSTの必要性を感じ、臨床検査技師として栄養の面での勉強を重ねてNSTの一員になれたら、と思いました。
- ・カンファランス前に介入者の検査データ収集をきちんとしていきたいと思いました。
- ・患者さんの情報収集の必要性を感じたので、CONUT値だけでなく、その他の検査値からも理由づけて考えていきたいと思っています。